

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要：東日本大震災以前のJR夜ノ森駅構内は、地域住民によって植栽・管理されてきた「つつじ」約6,000株により、「町の花」として親しまれ地域住民の誇りであり生きがいにもなっていた。震災後、除染や住民が避難したことから管理ができず放置され、愛着や誇りまでも大きく低下してしまった。昔のように、つつじが溢れる町のシンボルを復活させるために、町内に残るつつじの苗木を「つつじの里親」の手で生育し、再び植樹・管理することで、失われた誇りを取り戻すと共に里親同士のコミュニティ再生を目指す。

取組の効果・特徴：

「つつじ生育ワークショップ」、「小中学生との連携によるつつじ再生事業」、「夜ノ森駅 東口花壇「つつじ」の管理育生計画」「つつじ通信やSNS通じた情報発信」を通して、町の花であるつつじの再生とそのためコミュニティづくりによる復興を目指す。

取組内容

【取組①「事業名：つつじ生育ワークショップ」】

つつじ生育ワークショップ

実施場所／福島県双葉郡富岡町

活動頻度／11～12月ごろに1回

活動内容／①つつじ剪定&挿し木づくりワークショップ

②つつじ生育指導ワークショップ&里親交流会

参加見込／つつじの里親40～60名

【取組②「事業名：つつじ再生に向けた管理・コミュニティ化に向けた情報発信」】

(3) 夜ノ森駅 東口花壇「つつじ」の管理育生計画

- ・ 主な内容
- ・ 植樹の管理育生と仕組みづくり(大桑原つつじ園様のご指導)
- ・ 小中学生、住民、元住民、里親さんによる共同つつじ管理育生
- ・ 植樹後のつつじ管理育生計画(灌水設備の整備・水やり当番制の導入)
- ・ 植樹したつつじを活用したイベント企画(花の成長記録展示など)

(4) 情報発信

活動頻度／10月～3月頃の期間で随時

活動内容／①つつじ通信の発行(年間3回)

②公式Facebookページの運用

次年度以降の展開

令和7年度は、更なる運営母体の「里親の会」の充実と、2025年3月に植樹したつつじの管理体制と仕組みづくりを、大桑原つつじ園様のご指導で構築する。より多くの里親確保やつつじの採取などを進める必要も生まれてきたため、桜まつりなどイベントへの出展等により地域全体での取組みとなるよう活動に取り組む。事業終了後も町民が主体的につつじの再生とまちづくりに取り組む環境・コミュニティを形成することに加えて、町内企業等とも連携して観光や商品開発などに発展させることで「つつじのある富岡町」のまちづくりに貢献していきたい。